



報道関係者各位

2017年5月8日（月）
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

第16回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権（7月1-2日、23日）

過去最多 20 チームが出場

文京区・土浦市・岡山市・広島市・北九州市の5チームが初参加

平素より、ブラインドサッカーにご厚意を賜り厚く御礼を申し上げます。

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（以下、JBFA）は、7月1日（土）、2日（日）、23日（日）の3日間にわたり開催する「第16回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権（以下、アクサ ブレイブカップ）」の一次エントリーをこのほど締め切り、過去最多となる20チームが出場登録しました。free bird mejirodai（文京区）、Derroto Saber 茨城（土浦市・水戸市）、岡山 DEVIL BUSTERS（岡山市）、A-pfeile 広島 BFC（広島市）、LEO STYLE 北九州（北九州市）が初めてエントリーし、昨年の15チームから5チームが増えました。

協会設立翌年の2003年に開催された第1回大会は4チームの出場で、参加チームは徐々に増えています。アクサ ブレイブカップ初出場5チームのうち、Derroto Saber 茨城、A-pfeile 広島 BFC、LEO STYLE 北九州は、ブラインドサッカーの大会初出場です。

アクサ ブレイブカップは、7月1日（土）、2日（日）にみなとみらいスポーツパーク（神奈川県横浜市）で予選ラウンド、7月23日（日）にアミノバイタルフィールド（東京都調布市）でFINALラウンドを開催します。

予選ラウンド（1-2日）は、2日間にわたり参加20チームが5チーム×4組に分かれ1回戦総当たりのグループリーグを行い、各グループ上位1チーム、計4チームが決勝トーナメントへ進出。準決勝までを行います。第1日目は10時30分から、第2日目は9時30分から第1試合を開始予定で、入場無料です。

FINALラウンド（23日）は、3位決定戦と決勝戦を行います。3位決定戦は11時00分から、決勝戦は13時30分から開始予定で、一部有料席を設けます。

出場登録した20チームのグループ分けと紹介は以下の通りです。なお、各チームへの取材のご希望は当協会までお問い合わせください。

※右のポスター画像のDLはこちら <http://bit.ly/2qQYbIx>



【グループ分け】*各チームの紹介は2-3枚目をご覧ください。

グループ A	グループ B	グループ C	グループ D
新潟フェニックスファイヤーズ	Avanzare つくば	たまハッサーズ	ラッキーストライカーズ福岡
埼玉 T. Wings	ナマーラ北海道	兵庫サムライスターズ	buen cambio yokohama
松戸・乃木坂ユナイテッド	F. C. 長野 RAINBOW	Vivanzare つくば	GLAUBEN FREUND TOKYO
山梨キッカーズ	free bird mejirodai	コルジャ仙台 FC	Mix Sense 名古屋
LEO STYLE 北九州	A-pfeile 広島 BFC	岡山 DEVIL BUSTERS	Derroto Saber 茨城

【チーム紹介】

◆ナマラ北海道（札幌市）

2014年チーム設立。元Jリーグ、コンサドーレ札幌の芳賀博信氏が代表を務めるNPO法人セカンドサポートが運営する。チーム名は北海道弁で「すごい」などを意味する「なまら」から。

◆コルジャ仙台FC（仙台市）

2012年発足。コルジャはポルトガル語で「ふくろう」の意。ふくろうは暗闇の中でも、聴覚など様々な感覚を研ぎ澄ませ自由に飛びまわることから。

◆Avanzare つくば（つくば市）

2005年チーム設立。視覚に障害がある学生が学ぶ筑波技術大学保健科学部の在学学生、卒業生が主なメンバー。チーム名はイタリア語で「前進する」の意。日本代表の川村怜（主将）、佐々木ロベルト泉らが所属。最多となる日本選手権優勝8回。今大会では史上初の5連覇を目指す。

◆Vivanzare つくば（つくば市）

Avanzare つくばとは兄弟チームで、プレー経験年数が比較的短い選手が所属。チーム名はViva（バンザイ！の意）とAvanzareを組み合わせた造語。

◆Derroto Saber 茨城（水戸市、土浦市）【初出場】

2016年7月、茨城県内全域で誰でもサッカーを楽しめる環境を作ることを目的に設立。チーム名はスペイン語で、負けを知り、勝ち方を得るの意。

◆埼玉 T.Wings（さいたま市、所沢市）

2003年に所沢市にある国立障害者リハビリテーションセンターを拠点にチーム設立。2007年に現在の埼玉 T.Wings へ名称を変更。男子日本代表の加藤健人、女子日本代表の菊島宙らが所属。県内の盲学校で指導するなど普及にも熱心。

◆松戸・乃木坂ユナイテッド（港区、松戸市）

2011年に設立。チーム名は、毎週水曜日の夜に乃木坂にある公園で練習を行う「乃木坂ナイツ」と千葉県松戸市で活動する「松戸ウォリアーズ」との連合から。日本代表の寺西一らが所属。

◆GLAUBEN FREUND TOKYO（東京都）

東京都地域を中心とした地域でブラインドサッカーを普及させるために2015年4月発足。チーム名はドイツ語で「仲間を信じる」の意。和気あいあいがモットー。

◆たまハッサーズ（八王子市など）

FP 黒田智成、田中章仁、日向賢、GK 佐藤大介、菅谷竜太ら日本代表選手を多く擁する。東日本リーグ2016優勝。クラブチャンピオンシップ2016準優勝。ブラインドサッカーの可能性を追求し続ける創造力がチームの特色。

◆free bird mejirodai（文京区）【初出場】

2016年9月設立。チーム名はピッチ内を自由に翔る鳥を表す。筑波大学附属視覚特別支援学校に所属する中高生を中心に構成されたチーム。日々、視覚に障害のある同年代の子どもが集まり互いを高めあう。

◆buen cambio yokohama（横浜市）

チーム名はスペイン語で「よい変化」の意味。2010年設立し、翌年初出場した第11回日本選手権で準優勝。日本代表の落合啓士がチームを牽引する。クラブチャンピオンシップ2016では予選から勝ち上がり第4位。キッズ練習会など普及活動にも取り組む。

◆山梨キッカーズ（甲府市）

地域に根差した活動を続けている。毎年秋の関東リーグの1節を地元で運営している。

◆新潟フェニックスファイヤーズ（新潟市）

2002年のサッカーワールドカップ日韓大会をきっかけに翌年結成と草創期からあるチームの一つ。

◆F.C.長野 RAINBOW（坂城町）

2009年チーム設立。仲間づくりや交流の場として、また、人との絆・夢や希望の架け橋となることを願い、チーム名を決めた。坂城町を拠点に、県内での普及活動にも取り組む。

◆Mix Sense 名古屋（名古屋市）

2014年チーム設立。チーム名は、six sense（第六感）とmix（混じり合い）を掛け合わせたもの。チームが多くのお会い、繋がり、感性の混じり合いの場となることを願い名付けた。

◆兵庫サムライスターズ（神戸市）

県内在住者が集まる形で、2007年4月チーム設立。フィールドの中でも外でもチームの和を大事にしている。西日本リーグ2015優勝、クラブチャンピオンシップ2016第5位。

◆岡山 DEVIL BUSTERS（岡山市）【初出場】

2015年設立。チーム名は、桃太郎の鬼退治から。関西でのJBFA公認コーチ講習会において集まったメンバーが中心となり活動し、5年の歳月を経て設立に至る。

◆A-pfeile 広島 BFC（広島市）【初出場】

2015年設立。チーム名は8本の矢（選手+監督+ガイド+α）を表すドイツ語「Acht pfeile」を言い換えた造語で、広島県ゆかりの武将毛利元就の3本の矢に由来する。

◆ラッキーストライカーズ福岡（福岡市）

2004年の設立当初からJリーグアビスパ福岡の支援を受け、コーチ陣らも一緒に練習してサッカーの競技性を探求している。

◆LEO STYLE 北九州（北九州市）【初出場】

2017年設立。チーム名は勇敢（LEO）な姿（STYLE）を意味して、臆することなく立ち向かってプレーすることを目指す。特別支援学校と総合型地域スポーツクラブがタッグを組みチーム設立に至る。

【大会概要】

大会名：第16回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権

愛称：アクサ ブレイブカップ

日程および会場：

2017年7月1日（土）～2日（日） 予選ラウンド（みなとみらいスポーツパーク・神奈川県横浜市）

7月23日（日） FINALラウンド（アミノバイタルフィールド・東京都調布市）

主催：NPO法人日本ブラインドサッカー協会

メインサポーター：アクサ生命保険株式会社／アクサ損害保険株式会社／アクサダイレクト生命保険株式会社／アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

本件に関するお問い合わせ

NPO法人日本ブラインドサッカー協会 事務局

E-mail: media@b-soccer.jp 協会ウェブサイト: <http://www.b-soccer.jp>

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2階

電話：03-6908-8907 FAX：03-6908-8908